



プライバシーとサンプルの可視性

サンプルを分析のために Secure Malware Analytics に送信する場合は、その内容のプライバシーが重要な留意事項になります。機密文書やアーカイブタイプを分析のために送信する場合は、プライバシーが特に重要な留意事項になります。検索APIと組み合わせると、機密資料を見つけることは、Secure Malware Analytics へのアクセス権がある機密資料の場合比較的容易だからです。

プライバシーについては、サンプルを Secure Malware Analytics クラウドではなく社内の Secure Malware Analytics アプライアンスに送信する場合は特に問題になりませんが、プライバシーの基礎とサンプルの可視性に対する理解は Secure Malware Analytics アプライアンス管理者に必要です。

Secure Malware Analytics にサンプルを送信する際のプライバシーおよびサンプルの可視性モデルは、比較的単純なものになっています。プライベートとしてサンプルを指定しない限り、送信者の組織外部のユーザーにサンプルが可視になります。一般に、プライベートとして指定されたサンプルは、そのサンプルを送信したユーザーと同じ組織内にいる Secure Malware Analytics ユーザーにしか表示されません。

- [Secure Malware Analytics アプライアンスでのプライバシーと可視性 \(1 ページ\)](#)
- [Secure Malware Analytics クラウドでのプライバシーと可視性 \(3 ページ\)](#)

Secure Malware Analytics アプライアンスでのプライバシーと可視性

「CSA 統合」から送信されたサンプルの場合、Secure Malware Analytics アプライアンスでのプライバシーおよびサンプルの可視性モデルは変更されます。CSA 統合とは、CSA APIによって Secure Malware Analytics アプライアンスと統合されたシスコ製品 (ESA/WSA アプライアンスやその他のデバイスまたはサービス) のことです。

Secure Malware Analytics アプライアンスに対するすべてのサンプル送信は、デフォルトでパブリックとして設定されるため、どの組織に所属しているかに関わらず、CSA 統合を含む他のあらゆるアプライアンスユーザーが表示できます。

アプライアンスのすべてのユーザーが、他のすべてのユーザーが送信したサンプルのあらゆる詳細を確認できるということです。

非 CSA Secure Malware Analytics ユーザーは、サンプルをプライベートとして Secure Malware Analytics アプライアンスに送信できます。この場合、サンプルが可視になるのは、送信者と同じ組織に所属する Secure Malware Analytics アプライアンス（CSA 統合を含む）のユーザーだけです。

以下の表で、Secure Malware Analytics アプライアンスでのプライバシーおよびサンプルの可視性モデルを説明します。この表では、次の用語を使用します。

CSA 統合	CSA 統合とは、CSA API を介して Secure Malware Analytics アプライアンスに登録されている、ESA/WSA アプライアンスおよびその他のシスコデバイスまたはサービスのことで、CSA 統合から Secure Malware Analytics アプライアンスに送信されるサンプルは、デフォルトでパブリックとして設定されます。
その他の統合	FireAMP プライベートクラウドなどの他の統合に同様の基本的なプライバシールールが適用されます。
Secure Malware Analytics ユーザー : Public	Secure Malware Analytics アプライアンスにパブリックサンプルを送信する、Secure Malware Analytics の一般ユーザー（つまり、非 CSA 統合ユーザー）。 たとえば、Secure Malware Analytics Portal UI または Secure Malware Analytics ネイティブ API を使用してサンプルを送信するアプライアンス管理者またはマルウェアアナリストがこれに該当します。
Secure Malware Analytics ユーザー : Private	通常、Secure Malware Analytics ユーザーによって Secure Malware Analytics アプライアンスに送信されたプライベートサンプル。 この場合、プライベートサンプルは、送信者の組織に所属しない、アプライアンスの他のどのユーザーに対しても可視になりません。（送信者と同じ組織内の CSA 統合には可視になります）

表 1 : Secure Malware Analytics アプライアンスでのプライバシーと可視性

	アクセス時のサンプルの可視性 :			
サンプルの送信元	同じ組織の Secure Malware Analytics ユーザー	別の組織の Secure Malware Analytics ユーザー	同じ組織からの CSA 統合	別の組織からの CSA 統合

	アクセス時のサンプルの可視性 :			
Secure Malware Analytics ユーザー : Public	完全	完全	完全	完全
Secure Malware Analytics ユーザー : Private	完全	なし	完全	なし
CSA 統合 (ESA/WSA アプライアンスなど) CSA が Secure Malware Analytics アプライアンスに送信したサンプルはすべてデフォルトではパブリックです	完全	完全	完全	完全

同じ基本的なプライバシールールが FireAMP プライベートクラウドと Secure Malware Analytics アプライアンスの統合に適用されます。

Secure Malware Analytics クラウドでのプライバシーと可視性

プライベートサンプルが Cisco サンドボックス API (「CSA API」) を介して Secure Malware Analytics クラウドに送信される場合、「スクラブした」バージョン (限定要素) を他の CSA 統合と共有することができます。

次の表は、Secure Malware Analytics クラウドのサンプルのプライバシーと可視性を示します。



- (注) スクラブしたレポートでは、サンプルに関する潜在的な機密情報はすべて削除されます。ファイル名、プロセス名などはありません。サンプルはダウンロードされない可能性があります。

表 2: Secure Malware Analytics クラウドでのプライバシーと可視性

	アクセス時のサンプルの可視性 :			
サンプルの送信元	同じ組織の Secure Malware Analytics ユーザー	別の組織の Secure Malware Analytics ユーザー	同じ組織からの CSA 統合	別の組織からの CSA 統合

	アクセス時のサンプルの可視性：			
Secure Malware Analytics ユーザー：Public	完全	完全	完全	スクラブ済み
Secure Malware Analytics ユーザー：Private	完全	なし	完全	なし
CSA 統合（ESA/WSA アプライアンスなど） CSA が Secure Malware Analytics クラウドに送信したサンプルはすべてデフォルトではプライベートです	完全	なし	完全	スクラブ済み

詳細については、[cisco.com](https://www.cisco.com) の [Secure Malware Analytics Install and Upgrades](#) のページのドキュメントを参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。